

この街に
この人あり

バルーンを使った 地域活動

子どもからお年寄りまで、大人気のバルーンアート。杉並区を中心に様々な地域活動を推進する女性5名が集まり、バルーンアートで地域イベント等の盛り上げを図るグループ「BooBaa (ブーバー)」の活動を行っています。メンバーの朝枝晴美さん、高橋有美さんのお二人にお話を伺いました。



高橋さん(左)、朝枝さん(右)

「BooBaa」結成のきっかけ

もともと、メンバーはすぎなみ大人塾を通じて知り合った仲間で、それぞれに活動をしていたのですが、4～5年前、杉並区社会福祉協議会の地域福祉活動助成金への応募がきっかけとなり、バルーンアートに特化したグループ「BooBaa (ブーバー)」を5名で結成したのが始まりです。「BooBaa」の文字の中に風船を連想する丸い形がたくさん並んでいることと、(ブーバー)の発音から親しみやすさを感じて欲しいとの想いで名付けました。結成以降、メンバーもほぼ変わらず活動を継続することが出来ているのは、風船の持つ魅力が大きいからだと思います。

「BooBaa」の活動内容

活動は杉並区内がほとんどです。老人ホーム・障がい者施設・乳児院などの福祉関係、幼稚園・児童館・小学校などの教育関係、集客施設・地域区民センターなど公共施設で実施する様々なイベントやお楽しみ会に出展したり、製作指導をしています。また、街おこしなど地域活性化のイベントでは、町会・商店会、時には企業に招かれたりすることもあります。活動の頻度は平均すると月1～2回のペースというところです。「BooBaa」の活動は、今はあえて広報していません。お声がかかれば



おぎよくぼセンター祭での活動風景

きるだけ対応しています。

活動では材料費（風船等）の実費・交通費を最低でもいただいています。私たちの活動はあくまでボランティアの一環と考えていますが、講師料をいただくと活動にも幅が出て、やる気にもつながるので、ご予算があるところは、ぜひ、応援のためお願いします。(笑い)

今後の活動について

地域における人と人との「出会い」と「つながり」を大切にしたいと考えています。バルーンはそのためのツールと言えるかもしれません。活動の継続には無理をしないことも重要です。これからも、「自然体で活動を続けていく」つもりです。最近、バルーンアートをやりたいと希望するシニア世代の男性も増えているので、私たちと一緒にやっても良いし、「ブーバー」ならぬ「ブージー」を結成するお手伝いをするのも良い、というところでしょうか。

お問い合わせ先

BooBaa/朝枝 晴美 ☎080-6522-5536
Eメール:fun-fuu-harumi@jcom.home.ne.jp